

平成21年8月15日 発行
 毎月 1回15日発行
 編集兼 発行人 全国漁港漁場協会
 社団法人 濱田研一
 東京都港区赤坂1-9-13三三堂ビル8階
 電話 東京(5114)9981
 定価 1部 70円
 (会員の購読料は会費の中に含む)

漁港漁場月報

漁港は魚の保育園

http://www.gyokou.or.jp/

漁場整備を「水産環境整備」に転換

海洋・沿岸域における水産環境整備のあり方検討会



水産環境整備のあり方検討会で挨拶する町田長官

水産庁は、7月30日午後1時30分から水産庁中央会議室で、海洋・沿岸域における水産環境整備のあり方検討会(座長・磯部雅彦東京大学副学長・大学院新領域創成科学研究科教授)の第3回会合を開催した。

会議では、7月14日に就任した町田勝弘水産庁長官が挨拶した後、中間取りまとめ案について検討を行い、大筋を了承した。

町田勝弘水産庁長官は、「中間取りまとめを具体化していくため、できるものから着手していきたい」と考えている。また、次期長期計画策定の際にも参考としたい」と述べ、平成22年度の予算要求に反映させていく考えを表明した。

なお、当日の会議で出された意見等を踏まえて修正された「中間取りまとめ」が8月10日に公表された。

生態系全体の生産力底上げへ

中間取りまとめでは、我が国の漁業生産量がピーク時より半減し、資源水準も資源評価対象種の半分程度に低下していることや、藻場・干潟の大幅な減少、閉鎖性水域等での貧酸素水塊の発生や底質の悪化等漁場での環境面での課題が山積していること、さらに、地方公共

団体の財政事情悪化等での漁場整備を巡る環境が大きく変化していることからも、最新の知見や情報等を活用した実効性の高い整備に転換する必要がある」と現状と課題について記述。その上で、水産資源の回復・増大と豊かな生態系の維持・回復が図られるよう、現行

新たな視点と展開手法に関しては、「環境基盤の重視により、有用な生物のみを増やすのではなく、生態系全体の生産力底上げを」との視点と軸として計画や制度を検討することや、資源や環境の変動を踏まえた柔軟な整備・維持管理とモニタリングの充実を図る方向性を記している。

水産政策審議会第20回漁港漁場整備分科会が、8月4日午後3時から東京都内の虎ノ門パストラルで開催された。

水産政策審議会第20回漁港漁場整備分科会が、8月4日午後3時から東京都内の虎ノ門パストラルで開催された。

その後、審議会委員の改選で分科会委員に選任された各委員が紹介された。

議事に入り、分科会長の選任が行われ、互選により中田英昭長崎大学大学院生産科学研究科長が議長となつた。審議会の審査を行った。概要は以下の通り。

○諮問第162号
 北海道函館市の白尻漁港(第3種)の臨港道路の整備を行うことに伴う漁港の指定内容の変更について

北海道函館市の白尻漁港(第3種)の臨港道路の整備を行うことに伴う漁港の指定内容の変更について、審議会の結果、水産政策審議会令の規定に基づき分科会の決定により、諮問通りの実施することが適当であるとの審議会答申がなされた。

離島漁業再生支援交付金制度の継続を

離島漁業再生支援交付金制度検討会

中間取りまとめ

水産庁の離島漁業再生支援交付金制度検討会の「中間取りまとめ」が7月27日に公表された。

水産庁では、厳しい状況にある離島漁業の再生のために、地域資源である漁場の生産力の向上を図りつつ、地域の創意工夫により、各島の特性を最大限に活用していく

ことが必要との考えの下で、平成17年度から離島漁業再生交付金により、離島漁業の再生に取り組む漁業集落に対して支援を実施している。

平成20年度には、19都道府県、83市町村、830漁業集落が交付金制度を活用し、多様な取組を実施しているが、制度が

5年目を迎えることから、有識者による多角的な議論を行い、今後のあり方を検討するため、5月から7月までの4回の検討会を開催して検討してきた結果を中間取りまとめとして公表した。

水産庁では、中間取りまとめを踏まえて、本交付金制度についての検討

を深め、平成22年度の予算要求に行かしていく考え。

中間取りまとめでは、交付金は、離島において集落を挙げた漁業再生の新しい取組を行う契機になり、また離島の持つ多様な機能の維持・発揮に寄与しているという漁業者の意識醸成につながる必要と提言している。

制度の存続期間については、現行制度と同様5年程度とすべきとしており、制度の進め方に関しては、国民に離島の現状や事業内容の情報提供を行い、透明化し国民の理解を得て実施されなければならないとしている。

対象地域は、引き続き離島を対象とし、離島以外の地域に関しては、離島同様の条件不利性を有するかどうか等十分な議論を踏まえた対応が必要とするとしている。

活動内容については、従来の活動に加え環境にも配慮した持続型の漁業再生に向けた取組や、若い世代の参加を促すこと、地域活性化の取組強化、集落単位では規模が小さい場合の集落協定での連携による人材・ノウハウの共有を図る取組の重要性、幅広い関係者の参加を得るべきとしたほか、年度当初からの事業の円滑実施のため交付金による仕組みを維持すべきとし、これまで実績を踏まえ新しい仕組みを構築していくべきとまとめている。

え直し、複数種の移動・回遊等の動態を念頭に置いて、藻場・干潟、人工磯等の複合的な生態環境を整備すること、漁港や海岸等の既存施設等を生息空間の一要素として評価することについても提案している。

さらに、「資源・環境変動への対応」として、水産環境整備の推進体制を整備すること、また、資源・環境の変動が常に変動することの前提で、資源・環境の変動を踏まえ、良好な状態を維持・保全していくための柔軟な整備・管理の態を整備することが重要としている。

そのほか、モニタリング体制の強化、事業評価に必要なデータの収集・整理の着実な実施や、水産環境整備を巡る情勢を踏まえた資源管理、栽培漁業などの連携、河川・港湾・海岸等の公共施設との連携の必要性を重視し、環境便益を重視した事業評価の考え方の導入や、水産環境整備の役割や効果をわかりやすく説明し国民の理解を適切に関与し円滑な調整を図ることが重要としている。

係留されている外洋型帆船(ヨット)の所有者等が行った、漁港管理者である千葉県が平成20年12月になしたヨットの移動を求めた通知、並びに平成21年6月になした千葉県知事名での是正措置を求める勧告書に係る行政不服審査請求について審議会は諮問されたものについて、中田分科会長が議長となつた審議事項の審査を行った。概要は以下の通り。

○諮問第163号
 千葉県銚子漁港に長期

審議結果に基づき答申は、次の分科会で行なわれる分科会の委員は、次の7名(敬称略)。

泉澤 宏(網代漁業株式会社代表取締役)
 井上 繁(常磐大学コミュニティ学部長)
 ユニティ(振興学部長) 櫻庭武弘(JP北海道漁連代表理事)
 榎本和美(東京海洋大学海洋科学部教授)
 中田英昭(長崎大学大学院生産科学研究科長)
 山田悦子(全国漁協女性連絡協議会副会長理事)
 森川良子(福井県認証コミュニティビジネス団体ラ・じじみ副代表)

水産政策審議会 第20回漁港漁場整備分科会開かれる

その後、審議会委員の改選で分科会委員に選任された各委員が紹介された。

議事に入り、分科会長の選任が行われ、互選により中田英昭長崎大学大学院生産科学研究科長が議長となつた。審議会の審査を行った。概要は以下の通り。

○諮問第162号
 北海道函館市の白尻漁港(第3種)の臨港道路の整備を行うことに伴う漁港の指定内容の変更について

審議結果に基づき答申は、次の分科会で行なわれる分科会の委員は、次の7名(敬称略)。

泉澤 宏(網代漁業株式会社代表取締役)
 井上 繁(常磐大学コミュニティ学部長)
 ユニティ(振興学部長) 櫻庭武弘(JP北海道漁連代表理事)
 榎本和美(東京海洋大学海洋科学部教授)
 中田英昭(長崎大学大学院生産科学研究科長)
 山田悦子(全国漁協女性連絡協議会副会長理事)
 森川良子(福井県認証コミュニティビジネス団体ラ・じじみ副代表)

九州地区漁港漁場大会

600人集結し盛大に開催



約600名が参加した九州地区漁港漁場大会

鹿児島県いちき串木野市で

平成21年度九州地区漁港漁場大会が、鹿児島県鹿児島市で、7月9日午前10時からいちき串木野市の「いちき串木野市民文化センター」において、九州各県から約600名が参加して盛大に開催された。大会は、上野新作鹿児島県漁港漁場協会副会長（鹿児島県漁港漁場協会会長）の開会の言葉に始まり、主催者を代表して田畑誠一鹿児島県漁港漁場協会会長（いちき串木野市長より、昨年の燃油高騰の際に四千人もの漁業者が日比谷公園に集結して対策等について強く訴えた。その後論議のこら、何よりも国民の皆さんに漁業者の存在とその漁業者が全国の台所に動物性タンパク質を供給するというひたむきな姿勢を強く印象づけたことは大きな成果であった。今日ほど国民の安心・安全・新鮮・美味しいという食に対する声が強くなっていくときはない。漁業者は、漁業の母である「漁港」と父である「漁場」を自然食品の王様である魚介類の獲得の場と

東北太平洋漁港ブロック協議会

仙台市で開催



挨拶する佐藤宮城県漁港漁場協会会長

平成21年度東北太平洋漁港ブロック協議会が、7月15日午後3時から宮城県仙台市の「ホテル法華クラブ仙台」において、宮城県佐藤昭宮城県漁港漁場協会会長（塩竈市青森、岩手、宮城、福島）が「我が国の水産業



講演した高成田氏

講演した高成田氏は、東北太平洋漁港ブロック協議会として、全国的な水産基地を抱える東北太平洋漁港ブロック協議会として、

・漁村を取り巻く厳しい情勢に的確に対応し、消費者・国民の視点に立つた安全・安心な水産物を将来に亘って安定的に供給していくには、漁港、漁場及び漁村を総合的且つ計画的に整備していくことが肝要である。先の経済危機対策に関する補正予算では、水産業・漁村の振興を図るための有効な手立てが講じられた。これらの施策を地域の特性に応じて戦略的に推進していくことが我々に求められている。全国有数の水産基地を抱える東北太平洋漁港ブロック協議会として、

北日本地区漁港漁場協議会

山形県鶴岡市で開催



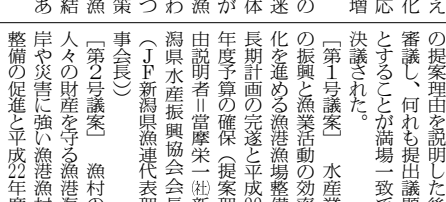
挨拶する富塚山形県漁港漁場協会会長

平成21年度北日本地区漁港漁場協議会が、7月16日午後3時から山形県鶴岡市の「萬國屋」において、秋田、山形、新潟、富山、石川の5県の漁港漁場関係協会等から約60人が参加して開催され



挨拶する富塚山形県漁港漁場協会会長

富塚会長は、「昨年は、燃油高騰が漁業者に深刻な打撃を与え、また世界的な経済金融情勢の悪化が景気の停滞を引き起こしている。一方、水産業を取り巻く環境は大変厳しい状況にある。こうした中であって、国民に安



富塚一会長を議長に

富塚一会長を議長に、

している。このために第二次漁港漁場整備長期計画等の推進のために我々は結集して訴えていく必要がある。今日大会が、漁港・漁場・漁村の更なる未来に繋がる発展のための新たな一ページとなり、漁場と働いていく仲間皆さんと共に頑張ろうと呼びかける大会になることを願っている。」と開会挨拶があった。続いて水産庁長官代理・橋本牧漁港漁場整備部長、田中潤児（副全国漁港漁場協会会長）、鹿児島県知事（代理）山田裕



串木野漁港で交流する参加者

丸山善一いちき串木野市議長、そして宮路和明衆議院議員及び加治屋義人参議院議員より祝辞が呈せられ、木場信一いちき串木野市副市長から歓迎の言葉が述べられた。田畑誠一会長を議長として議事が進められ、先ず、次の各県提出議題について説明が行われ満場一致で採択された。一、第二次漁港漁場整備長期計画の着実な推進について（八並康一福岡県漁港漁場協会会長（行橋市長））、二、社会資本整備重点計画（海岸事業）の推進について（井上俊昭福岡県漁港漁場協会会長（新上五島町長））の閉会の言葉で終了した。大会後、地元神村学園鼓舞部の皆さんにより郷土芸能や創作舞踊が披露された。その後、場所を串木野漁港に場所を移して高柳さ所から同漁港を視察するとともに、昼食を摂りながら串木野さの踊りなど地元の方々にふるまひを堪能した。なお、大会前日の8日午後5時から鹿児島市の「鹿児島サンロイヤルホテル」において、来賓、各県代表者が参加して九州各県代表者会議が開催され、大会提出議題等の検討を行い、引き続き同ホテル内において懇談会が行われた。

富塚会長は、「昨年は、燃油高騰が漁業者に深刻な打撃を与え、また世界的な経済金融情勢の悪化が景気の停滞を引き起こしている。一方、水産業を取り巻く環境は大変厳しい状況にある。こうした中であって、国民に安

富塚会長は、「昨年は、燃油高騰が漁業者に深刻な打撃を与え、また世界的な経済金融情勢の悪化が景気の停滞を引き起こしている。一方、水産業を取り巻く環境は大変厳しい状況にある。こうした中であって、国民に安

富塚会長は、「昨年は、燃油高騰が漁業者に深刻な打撃を与え、また世界的な経済金融情勢の悪化が景気の停滞を引き起こしている。一方、水産業を取り巻く環境は大変厳しい状況にある。こうした中であって、国民に安

富塚会長は、「昨年は、燃油高騰が漁業者に深刻な打撃を与え、また世界的な経済金融情勢の悪化が景気の停滞を引き起こしている。一方、水産業を取り巻く環境は大変厳しい状況にある。こうした中であって、国民に安

富塚会長は、「昨年は、燃油高騰が漁業者に深刻な打撃を与え、また世界的な経済金融情勢の悪化が景気の停滞を引き起こしている。一方、水産業を取り巻く環境は大変厳しい状況にある。こうした中であって、国民に安

富塚会長は、「昨年は、燃油高騰が漁業者に深刻な打撃を与え、また世界的な経済金融情勢の悪化が景気の停滞を引き起こしている。一方、水産業を取り巻く環境は大変厳しい状況にある。こうした中であって、国民に安

各県協会総会

広島県漁協協会

広島県漁協協会(会長・田中達美)広島市長は、7月30日午後4時から広島市の「八丁堀センター」において平成21年度通常総会を開催した。

山口県漁港漁場協会

山口県漁港漁場協会(会長・野村興児)秋市長は、7月16日午後1時30分から山口市の「防長苑」において開催した。

山口県漁協協会

山口県漁協協会(会長・野村興児)秋市長は、7月14日山口市の山口県庁内で、平成21年度漁港関係業務研修会を開催した。

山口県漁港漁場協会

山口県漁港漁場協会(会長・野村興児)秋市長は、7月14日山口市の山口県庁内で、平成21年度漁港関係業務研修会を開催した。

山口県漁港漁場協会

山口県漁港漁場協会(会長・野村興児)秋市長は、7月14日山口市の山口県庁内で、平成21年度漁港関係業務研修会を開催した。

山口県漁港漁場協会

山口県漁港漁場協会(会長・野村興児)秋市長は、7月14日山口市の山口県庁内で、平成21年度漁港関係業務研修会を開催した。

山口県漁港漁場協会

山口県漁港漁場協会(会長・野村興児)秋市長は、7月14日山口市の山口県庁内で、平成21年度漁港関係業務研修会を開催した。

山口県漁港漁場協会

山口県漁港漁場協会(会長・野村興児)秋市長は、7月14日山口市の山口県庁内で、平成21年度漁港関係業務研修会を開催した。

山口県漁港漁場協会

また、任期満了に伴う役員改選が行われ、会長に野村興児氏、副会長に藤田忠夫氏(宇部市長)が再任、新副会長に椎木巧(周防大島町長)が選任された。

「公共工事の適正執行に」について、整備班主査

愛媛県漁港漁場協会

愛媛県漁港漁場協会(会長・中畑保一)県議会議長の第62回通常総会が、7月24日午後4時から松山市の「松山全日空ホテル」において開催された。

高知県漁港漁場協会

高知県漁港漁場協会(会長・仙頭義寛)県議会議長の第61回通常総会が、7月23日午後3時から高知市の「三翠園」において開催された。

高知県漁港漁場協会

高知県漁港漁場協会(会長・仙頭義寛)県議会議長の第61回通常総会が、7月23日午後3時から高知市の「三翠園」において開催された。

高知県漁港漁場協会

高知県漁港漁場協会(会長・仙頭義寛)県議会議長の第61回通常総会が、7月23日午後3時から高知市の「三翠園」において開催された。

高知県漁港漁場協会

高知県漁港漁場協会(会長・仙頭義寛)県議会議長の第61回通常総会が、7月23日午後3時から高知市の「三翠園」において開催された。

高知県漁港漁場協会

高知県漁港漁場協会(会長・仙頭義寛)県議会議長の第61回通常総会が、7月23日午後3時から高知市の「三翠園」において開催された。

高知県漁港漁場協会

高知県漁港漁場協会(会長・仙頭義寛)県議会議長の第61回通常総会が、7月23日午後3時から高知市の「三翠園」において開催された。

高知県漁港漁場協会

高知県漁港漁場協会(会長・仙頭義寛)県議会議長の第61回通常総会が、7月23日午後3時から高知市の「三翠園」において開催された。

高知県漁港漁場協会

大分県漁協協会

大分県漁協協会(会長・藤本昭夫)大分県市長は、8月4日午前10時30分から大分市の「大分県水産会館」において、平成21年度通常総会を開催した。

大分県漁協協会

大分県漁協協会(会長・藤本昭夫)大分県市長は、8月4日午前10時30分から大分市の「大分県水産会館」において、平成21年度通常総会を開催した。

大分県漁協協会

大分県漁協協会(会長・藤本昭夫)大分県市長は、8月4日午前10時30分から大分市の「大分県水産会館」において、平成21年度通常総会を開催した。

大分県漁協協会

大分県漁協協会(会長・藤本昭夫)大分県市長は、8月4日午前10時30分から大分市の「大分県水産会館」において、平成21年度通常総会を開催した。

大分県漁協協会

大分県漁協協会(会長・藤本昭夫)大分県市長は、8月4日午前10時30分から大分市の「大分県水産会館」において、平成21年度通常総会を開催した。

大分県漁協協会

大分県漁協協会(会長・藤本昭夫)大分県市長は、8月4日午前10時30分から大分市の「大分県水産会館」において、平成21年度通常総会を開催した。

大分県漁協協会

大分県漁協協会(会長・藤本昭夫)大分県市長は、8月4日午前10時30分から大分市の「大分県水産会館」において、平成21年度通常総会を開催した。

大分県漁協協会

大分県漁協協会(会長・藤本昭夫)大分県市長は、8月4日午前10時30分から大分市の「大分県水産会館」において、平成21年度通常総会を開催した。

大分県漁協協会

上北征男氏叙勲祝賀会

今年度の叙勲で瑞宝中綬章を受章された上北征男氏(鹿兒島県)が、7月11日午後5時から東京霞が関の東海大学校友会館で開催された祝賀会に、約50名が参加した。

上北征男氏叙勲祝賀会

今年度の叙勲で瑞宝中綬章を受章された上北征男氏(鹿兒島県)が、7月11日午後5時から東京霞が関の東海大学校友会館で開催された祝賀会に、約50名が参加した。

上北征男氏叙勲祝賀会

今年度の叙勲で瑞宝中綬章を受章された上北征男氏(鹿兒島県)が、7月11日午後5時から東京霞が関の東海大学校友会館で開催された祝賀会に、約50名が参加した。

上北征男氏叙勲祝賀会

今年度の叙勲で瑞宝中綬章を受章された上北征男氏(鹿兒島県)が、7月11日午後5時から東京霞が関の東海大学校友会館で開催された祝賀会に、約50名が参加した。

上北征男氏叙勲祝賀会

今年度の叙勲で瑞宝中綬章を受章された上北征男氏(鹿兒島県)が、7月11日午後5時から東京霞が関の東海大学校友会館で開催された祝賀会に、約50名が参加した。

上北征男氏叙勲祝賀会

今年度の叙勲で瑞宝中綬章を受章された上北征男氏(鹿兒島県)が、7月11日午後5時から東京霞が関の東海大学校友会館で開催された祝賀会に、約50名が参加した。

上北征男氏叙勲祝賀会

今年度の叙勲で瑞宝中綬章を受章された上北征男氏(鹿兒島県)が、7月11日午後5時から東京霞が関の東海大学校友会館で開催された祝賀会に、約50名が参加した。

上北征男氏叙勲祝賀会

今年度の叙勲で瑞宝中綬章を受章された上北征男氏(鹿兒島県)が、7月11日午後5時から東京霞が関の東海大学校友会館で開催された祝賀会に、約50名が参加した。

上北征男氏叙勲祝賀会

漁港往来

7月1日(水) 全国漁港漁場協会田中会長は愛知県へ、田村常務は福岡県へ出張

漁港往来

7月2日(木) 全国漁港漁場協会田中常務は宮崎県へ出張

漁港往来

7月3日(金) 漁船保険中央会副会長三宅哲夫氏、同会常務理事石原英司氏

漁港往来

7月6日(月) 青森県漁港漁場協会(東通村)長 越善靖夫氏、同協会専務理事原田邦治氏

漁港往来

7月8日(水) 全国漁港漁場協会田中会長は鹿児島県へ出張

漁港往来

7月9日(木) 全国漁港漁場協会田中会長は鹿児島県へ出張

漁港往来

7月15日(水) 水産庁長官町田勝弘氏、水産庁漁政部長奥原正明氏、水産庁水産総合食料局長長佐藤憲雄氏

漁港往来

7月17日(金) 水産庁瀬戸内海漁業調整事務所長堤坂猛氏、同事務所専務理事島崎幸男氏

漁港往来

漁港往来

7月23日(水) 全国漁港漁場協会濱田専務は高知県へ出張

漁港往来

7月24日(木) 全国漁港漁場協会濱田専務は愛媛県へ出張

漁港往来

7月28日(火) 全国漁港漁場協会田中会長は鳥取県へ出張

漁港往来

7月30日(木) 独立行政法人水産総合研究センター水産工学研究所地域基盤研究チーム長三上信雄氏

漁港往来

7月31日(金) 水産庁漁港漁場整備部計画課計画官喜多良氏

漁港往来

7月31日(金) 水産庁漁港漁場整備部計画課計画官喜多良氏

漁港往来

7月31日(金) 水産庁漁港漁場整備部計画課計画官喜多良氏

漁港往来

7月31日(金) 水産庁漁港漁場整備部計画課計画官喜多良氏

漁港往来

水産庁長官に町田勝弘氏 水産庁人事 農林水産省の7月14日付の人事異動で、山田修路水産庁長官は農林水産審議官に就任し、後任の水産庁長官に町田勝弘氏(新潟県)が就任した。